

# シンフォニー

*Symphony*



## 北本市×埼玉りそな銀行 パープル・ライトアップ実施

11月12日から25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなんで、市庁舎と埼玉りそな銀行北本支店において紫色のライトアップを行いました。



## 特集

### 仕事？ 子育て？ 家事もある…… 我が家のカタチ ききました。

**実**家が遠方だったり、両親が現役で働いていたりなどの理由から、実家の支援を受けずに仕事と育児を両立している先輩たち。

公的サービスの利用、家族やママ友との相互協力の他、自分にあった働き方を見つけ、仕事と育児の両立を果たしています。

タイプの違う3家族。それぞれに特徴があり、魅力的なご家族を紹介します。







だいで  
**醍醐さん**  
男の子 2人

# 子育てと社会で活躍したいという 希望をかなえるために!

■常勤として働き続ける醍醐さん。そのエネルギーは、どこから湧いてくるのですか？

子育てしながら社会で活躍し続けたいという強い希望からです。その希望を実現できたのは、子どもやパートナーの協力が得られたこと。そして、自分と同じように考え、行動しようとする人達との出会いがあったからだと思います。そして、行政の面からのサポートがあったことも重要だったと思います。

■利用してよかったサービスはありますか？

ステーション保育と学童保育室です。  
ステーション保育（※サービス詳細については右ページ下を参照）は20時までだったので、本当に助かりました。  
学童保育室には、学年を越えた子ども達同士のふれあいが存在します。そこでは、様々な物の見方や考え方があることを、体験を通して知ることができます。また、指導員の方に見守られているという安心感は何事にも替え難いと思います。

●学習塾勤務

●長男出産。夜遅くまでの仕事だったので、産休を取得したが退職

●生後10カ月で、再就職

●次男出産。産休・育休を取得

●復職。時短勤務を利用し、その後、数カ月でフルタイムに戻る。



**出産を考えている人、  
出産後再び働きたいと  
考えている人たちへ**

子育てと社会で活躍することの両立は大変なことだと思います。私自身も初めて体験することが多く、家族、友人、保育園・学童などの協力があつたからこそ、実現できたことだと思います。これから、出産や再就職を考えている人たちには、人との出会いやサービスの利用を積極的に考えていただければと思います。仕事をしているからこそ、手を差し伸べてくれる人にも出会えました。

## 感謝の気持ちは言葉で伝える! 家族みんなで、支え合う。

■家事と育児の分担は？

**妻**▶ 平日はほぼ私がやっていますが、夫は日ごろから感謝の気持ちを伝えてくれます。夫も、仕事が休みの土日は、子どもをお風呂に入れたり、公園に連れて行ってくれたりします。上の子二人は体力もついてきて、喧嘩になると止めるのが大変になってきました。夫が叱ってくれ、逆に私が叱った後はフォローしてくれ、助かっています。

**夫**▶ 会社も残業をなるべくしないようにという流れになってきていますが、業務量は変わっていないので、なかなか定時に上がるのは難しいのが現実です。平日は妻がしっかり家事・育児を担ってくれているので、仕事に集中することができます。とても感謝しています。

**長男**▶ 米研ぎとかゴミ捨てを中心に、お手伝いをしています。オムレツやソーセージを焼いたり、お母さんと一緒にピーマンの肉詰めを作ったりすることもあります。それから、兄弟でお風呂に入り、弟の髪を洗ってあげます。一番下の弟が泣いたら、抱っこしてあやしてあげています。

**次男**▶ 掃除を手伝います。お母さんに言われなくても自分から!



かいげ  
**界外さん**  
男の子 4人

●専業主婦。長男、次男出産

●建築士の資格を取得! 託児所のある建築会社に就職

●次男が病気にかかり、退職。三男出産

●次男快復。建築会社に再就職

●四男出産。産休、育休を取得。夫も育休1日取得

●現在は在宅勤務。会社とメールでやりとりし、図面を描いている。



**出産を考えている人、  
出産後再び働きたいと  
考えている人たちへ**

出産してから資格を取得し、子どもの状況に合わせて働き方を変えてきました。子どもが4人いると、大変な時もありますが、兄弟で協力し合っていて、助かることもたくさんあります。

# 出産経験がプラスに… マタニティ分野で起業!

## ■なぜ、起業しようと思ったのですか? 起業に対して、不安はありませんでしたか?

長女の通院と保育園の送迎のため、時間の融通が利くフリーランスになったのですが、2社を掛け持ちしていたので、睡眠時間を削って仕事をする日々が続きました。「もっと収入を増やしたり、事業を拡大するにはフリーランスだけでは難しい」と感じ、また「デザインから服ができて売れるまでの一通りを自分で手がけてみたい!」という思いが芽生え、起業を思い立ちました。

埼玉県が開設している『埼玉県創業・ベンチャー支援センター』(現『創業・ベンチャー支援センター埼玉』(公財)埼玉県産業振興公社が運営)に、融資などの相談をしました。上手くいくか、もちろん不安はありましたが、30歳前だったので、「お金を借りてでも今起業する方が、もし失敗してもやり直せる!」と思い、決意しました。

## ■家事と育児の分担は?

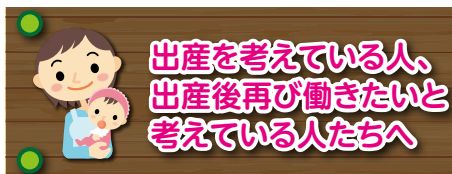
きちんと分担はしていません。家事・育児だけでなく、仕事も含めた3つを、夫婦二人で分担すれば良いと考えるようになってから、気持ちが増えました。夫が「家事≠妻の仕事」と分かってくれば、私が担うことの方が多くても、苦ではありません。

3人目を出産するため入院した時も、実家の応援は頼まず、夫が子どもたちのお弁当を作り、学童の送迎もしてくれました。ゆで卵いっぱいのお弁当の画像が送られてきました(笑)。



はやし  
**林さん**  
女の子 2人  
男の子 1人

- アパレルメーカーでデザイナーとして勤務
- ↓
- 長女出産。産休・育休を取得。長女が心臓の手術を受けることになったため、育休中に退職
- ↓
- フリーランスのデザイナーとして働くことを決意。2人目妊娠中から営業活動開始!
- ↓
- 次女出産。2社と契約! 寝る間を惜しんで、仕事をする日々
- ↓
- 2011年3月、マタニティ&授乳服の専門店「Lyrique(リリク)」オープン!
- ↓
- 長男出産



私は仕事が好きです。もし子どもがいなかったら、仕事中心の人生になってしまっていたと思います。でも、この起業も、子どもがいなかったらしていなかったと思いますし、子どもがいるから仕事が頑張れる、仕事があるから育児の息抜きにもなっていると思います。

## 利用している(した)サービス

	醍醐さん	界外さん	林さん
産休	○	○	○
育休	○	○	○
時短勤務	○		
保育所(園)	○	○	○
ステーション保育	○		
幼稚園		○	
会社の託児所		○	
学童	○	○	○

※ステーション保育……朝、お子さんを駅西口ビルの中にある「保育ステーション」に預けると、バスで保育所(園)に送ってもらえる。夕方は、バスで保育所(園)から「保育ステーション」に送ってもらえるので、保護者は「保育ステーション」にお迎えに行く。

【対象者】 生後6か月以上で、指定の保育所(園)に入所しているお子さん。電車通勤で保育時間内に保育所(園)への送迎が困難な保護者

【利用時間】 平日：7時から8時、18時30分から20時  
土曜日：7時から8時、15時20分から16時30分(ただし、朝は7時30分までにお子さんを預ける。)

【利用料】 子ども1人につき1日500円

他にも、病後児・病児保育やファミリーサポートセンターなど、子育てを応援する制度があります。詳しくは、

<http://www.city.kitamoto.saitama.jp/kosodate/index.html>

をご覧ください。





# ひとりで悩まないで相談してみませんか？



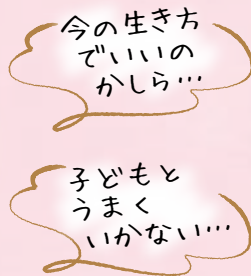
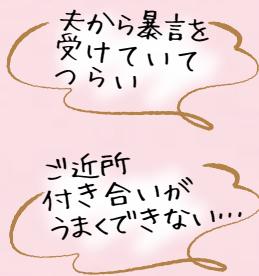
DVとは夫婦や恋人など親密な関係にあるパートナーからの暴力を言います。暴力の形はさまざまで、殴る、けるなどの身体的暴力、大声で怒鳴ったり、物にあたるなどの精神的暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力、性行為の強要、避妊に協力しないなどの性的暴力など多岐に渡ります。

DVは決して他人ごとではありません。県の調査では実に4人に1人が「パートナーから何らかの暴力を受けたことがある」と回答しています。

**DV(ドメスティック・バイオレンス)とは？**

## 女・性・相・談

市では様々な悩みを持つ女性を対象にした女性相談を実施しています。



相談日(予約制)

第1・3水曜日 第2月曜日

予約・問合せ

企画課人権推進・男女共同参画係

☎ 048-594-5506

- 専門の女性相談員が相談に応じます。
- 上記以外の日程でも職員が対応します。

## 編集後記 Editor's Note

色んな家庭があって色んな工夫をしている。でも男女共同参画って難しい！とも思われました。バブルと不況を経験した平成が終わります。次の時代には「男女共同参画」という言葉がナンセンスになっているかも。お子さんのインタビュー記事にそんな未来がみえたような気がしました。

(小林聡子)

一生懸命頑張るママたちとご家族のインタビュー、お話を聞いてとても温かい気持ちになりました。働きながらの子育ては、大変ですが、子育てには楽しいことがたくさんありますね。それぞれの事情にあった働き方が、もっともっとできるような社会になるといいですね。

(邨山真理)

『意志あるところ道は開ける』と感じました。お三方共に出産や子どもの病気で退職しますが、資格取得、フリーへの転向、転職、在宅勤務、起業……としなやかに現状に合った働き方で続けました。それを支えるのは、公的サービス、夫や子ども、仲間です。保育料は3才から無料になるとのこと。今回の特集がさらにこれからの方の励みになれば幸いです。

(佐久間純子)

仕事と家庭の両立をしつつ、自分らしい生き方をどのようにしていけばよいのか。私自身あらためて考えさせられることの多かった今回のシンフォニー、いかがでしたでしょうか？それぞれの家族のカタチ。みなさまのお家はどんなカタチ？この冊子を片手に考えてみていただけると良いな、と思います。

(若山麻紀)

## シンフォニーとは

「シンフォニー」とは交響曲のこと。いろいろな楽器が響き合って一つの曲を奏できるように、男女が力を出しあって、調和のとれた男女共同参画社会を創造できるようにと名づけられたものです。

シンフォニー25号はいかがでしたか？みなさんのご意見・ご感想をお待ちしています。

## 編集協力員募集

「シンフォニー」は市民の編集協力員が企画・編集しています。あなたもシンフォニーをいっしょにつくってみませんか？興味のある方は、

企画課人権推進・男女共同参画係

(電話048-594-5506)

までお問合せください。



北本市は地球環境に配慮した取り組みを進めています。

企画・編集 男女共同参画情報紙「シンフォニー」編集協力員  
発行 北本市企画財政部企画課人権推進・男女共同参画係  
〒364-8633 北本市本町1丁目111番地 TEL 048-591-1111(代表)

シンフォニー

第25号2019年1月発行